

平成27年度施策評価シート

基本施策	一人ひとりの健康づくりを支援する		
総合計画での位置付け	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして
	分野	5	健康・保健・医療
主要な計画	・健康たかやま21(第2次) ・新型インフルエンザ対策行動計画 ・食育推進計画 ・第2期国民健康保険特定健康診査等実施計画		
基本施策を実施する背景や課題・目的	・食生活や生活習慣の変化、ストレスの増大などが原因となって引き起こされる、悪性新生物(がん)、心疾患(心臓病)、脳血管疾患(脳卒中)、糖尿病などの生活習慣病の増加が深刻な問題となっており、本市における死因も悪性新生物が最も多く、次いで心疾患、脳血管疾患の順となっている。 ・本施策は、地域の人々が互いに手をむすび、ともに支えあいながら子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる「やさしさ」あるまちづくりをすすめるため、一人ひとりの健康づくりを支援することを目的としている。		

1 概要

施策	施策の内容	これまでの取り組み	担当局
1 健康づくり活動の充実	健康に関する正しい知識の普及啓発、「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚	・平成24年度に健康たかやま21(第2次)の見直しを行った。 ・保健指導の必要性が認められた方に対する特定保健指導、保健指導の実施、出前講座や健診結果説明会、糖尿病学習会等の健康教育を実施し、各種健康相談、うつ病予防講演会、健康手帳の交付を行った。	市民保健部
	誰もが気軽に健康づくりができる健康増進施設の整備	・市総合交流センター建設計画は、平成22年9月に一時休止となった。 ・健康増進施設の整備については、「高山市総合交流センター検討委員会」の結果報告書や、民間事業者の市内進出・断念等の状況をふまえ、改めて施設のあり方について検討を行った。	市民保健部
	健康づくりのための器具設置や高齢者や障がい者の温泉保養施設などの利用に対する助成	・閉じこもりの防止や健康増進、心身のリフレッシュを目的に、65歳以上の高齢者及び障がい者に対し年間20回分の温泉保養施設等利用費補助を実施した。 ・町内会等が管理している公園等に設置する高齢者のための健康づくり器具について、3基(上限30万円/基)までの費用を補助した。	福祉部
	健康づくり団体やスポーツ関連団体などと連携した健康づくり活動の推進	・高山市食生活改善連絡協議会(飛まわり会)による学習会、伝達講習会、食生活改善の普及啓発活動を行った。 ・市健康づくり推進協議会の主催により、健康づくり等関係団体が協力・参加し、「市民健康まつり」を開催した。	市民保健部
	食育に関する意識の普及啓発	・平成24年度に市食育推進計画(第2次)の見直しを行った。 ・市広報やHP、ヒッツFM、ヒットネットTVを積極的に活用して、食育に関する啓発を行った。	市民保健部
2 保健・予防対策の推進	関係団体などと連携した保健事業の実施	・高山市食生活改善連絡協議会(飛まわり会)による学習会、伝達講習会、食生活改善の普及啓発活動を行った。 ・市健康づくり推進協議会の主催により、健康づくり等関係団体が協力・参加し、「市民健康まつり」を開催した。 ・閉じこもりの防止や健康増進、心身のリフレッシュを目的に、65歳以上の高齢者及び障がい者に対し年間20回分の温泉保養施設等利用費補助を実施した。 ・町内会等が管理している公園等に設置する高齢者のための健康づくり器具について、3基(上限30万円/基)までの費用を補助した。	市民保健部 福祉部
	年齢に応じた健康診査や各種検診などの実施	・39歳以下、生活保護受給者等を対象とした高山市健康診査を実施した。国民健康保険では、40歳以上を対象とした特定健康診査を実施し、75歳以上の方を対象とする後期高齢者医療制度では、「ぎふ・すこやか健診」を実施した。 ・各種がん検診、骨粗しょう症、肝炎ウイルス、歯周疾患検診等を実施した。	市民保健部
	介護予防事業の実施	・高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐことを目的に、高齢者健康教室事業及び通所型介護予防事業を実施した。	福祉部
	疾病の種類や対象年齢に応じた個別予防接種の実施	・法改正に沿って、疾病の種類や対象年齢に対応した定期予防接種を実施した。	市民保健部
	感染症に対する正しい知識の普及や啓発、感染症の発生や拡大に対する予防対策の実施	・平成26年度に新型インフルエンザ等対策行動計画の見直しを実施した。 ・市広報やHP、ヒッツFM、ヒットネットTVを積極的に活用し、感染症に対する正しい知識の普及、インフルエンザ、食中毒等の感染症予防対策の啓発を行った。	市民保健部

2 指標の推移

指標名	単位	関連 施策	好まし い 方向	H21	H22	H23	H24	H25	H26	目標
市民健康まつり来場者数	人	1-ア	↑	1,800	2,000	2,200	2,400	2,200	2,400	2,500
訪問指導延べ人数	人	1-ア	↑	6,707	6,736	7,452	6,622	7,167	6,868	5,000
特定健診受診率	%	1-ア	↑	52	52	52	52	52	52	59
高齢者健康づくり器具設置台数	台	1-ウ	↑	18	9	5	6	13	12	10
温泉保養施設等延べ利用者数	人	1-ク	↑	78,014	78,447	102,415	107,686	107,525	103,285	110,000
生活管理指導短期宿泊事業利用延べ日数	日	2-ア	↑	12	3	21	64	18	34	105
各種検診受診者延べ人数	人	2-イ	↑	49,917	48,457	48,028	46,909	47,682	47,093	53,000
がん検診受診率	%	2-イ	↑	38	39	41	39	40	38	50
ぎふ・すこやか健診受診者	人	2-イ	↑	1,131	1,000	2,376	2,530	2,697	2,820	2,800
高齢者健康教室参加延べ人数	人	2-ウ	↑	8,930	10,325	11,557	10,265	8,385	7,509	15,000
通所型介護予防事業参加延べ人数	人	2-ウ	↑	6,425	6,491	6,707	7,022	7,793	7,478	12,000
生活機能チェックリスト判定数	人	2-ウ	↑	5,827	4,625	2,686	5,396	5,169	5,385	7,000
定期予防接種延べ接種者数(A類疾病)	人	2-エ	↑	10,980	13,760	15,348	15,797	17,593	16,755	19,900
小児インフルエンザ予防接種者数(のべ)	人	2-エ	↑	9,920	12,850	11,591	11,942	11,586	10,954	12,200

3 市民アンケートの結果

		現在の「満足度」		今後の「重要度」		市民満足度を高めるために 改善等を行う優先度	
H21	点数	61.9	(平均) (54.6)	81.0	(平均) (79.7)	Ⅱ	やや高い
	順位	42施策中 8 番目			42施策中 20 番目		
H25	点数	68.3	(平均) (56.9)	83.4	(平均) (81.8)	Ⅱ	やや高い
	順位	43施策中 3 番目			43施策中 18 番目		
H27 (今回)	点数	67.4	(平均) (56.0)	81.4	(平均) (81.2)	Ⅱ	やや高い
	順位	43施策中 3 番目			43施策中 19 番目		

4 一次評価(担当部局による評価)

担当部局		福祉部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
1	活健康のづくり	<ul style="list-style-type: none"> 町内会などの団体が高齢者の健康づくりの器具の設置を希望する場合に、その設置費用を助成した。 高齢者に温泉保養施設等の利用助成券を交付し、対象者の4割を超える方に利用いただき、健康増進の支援を行うとともに、外出を促した。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり器具の設置助成は、ベンチの用途の要望が多くなり、健康づくり器具の設置といった当初の目的は達成しているため、事業を廃止することとした。 事業のコストや事務の手間の削減を行う。
2	対保健の・推予防	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の健康教室が定着し、新規の教室への参加者が減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たに健康教室の参加者を募る方法から、地域で自主的に活動しているグループの支援に移行していく必要がある。 元気な高齢者には社会の一員として支援が必要な高齢者を支える担い手として活躍いただく仕組みを構築する。

担当部局		市民保健部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
1	活健康のづくり	<ul style="list-style-type: none"> 健康に関する正しい知識の普及を図るため、健康相談や健康教育、訪問指導などを行ってきたが、今後も継続的に取り組んでいく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚や心身の健康に関する相談体制の充実、食育の推進などによる健康づくりの支援を行う。
2	保健康の・推予防対策	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦教室、乳幼児相談や家庭訪問などによる子どもの発達に応じた支援を行った。 全ての年齢層において、生活習慣病の発症リスクが高まっていることから、市健康診査、特定健康診査、職場健診等による受診機会の確保、受診率の向上が必要である。 疾病の種類や対象年齢に応じた定期予防接種を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 母子、成人保健の推進や生活習慣改善の支援、感染症拡大防止の推進などにより予防対策を推進する。

5 二次評価(企画課、総務課、財政課評価)

課題	今後の方向性
<p>主な課題としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての年代において、生活習慣病の発生リスクが高まっている。 ・特定健診受診率及びがん検診受診率が伸び悩んでいる。 <p>といったことが挙げられる。</p>	<p>市民アンケートの結果、施策に対する現在の満足度は高いものの、今後の重要度がやや高くなっていることを踏まえ、健康たかやま21をはじめとする健康に関する諸計画に基づき、健康寿命の延伸に取り組んでいく必要がある。</p> <p>特に、病気の発症や重症化を防ぐために有効である特定健診やがん検診の受診率を高めていく取り組みが必要である。</p>

6 外部有識者の評価・意見

七次総合計画における検証に対する評価・意見
<p>・一人一人の健康づくりを中心に、福祉部・市民保健部が関与しての活動を概ね満足のいく状態と考える。市民アンケートからしても、かなり高い評価を受けているが、健康教室のマンネリ化による参加者の減少をくい止める意味で何らかの工夫、支所を中心とした地域での活動の拡大が望まれる。</p> <p>・インフルエンザワクチンが3価から4価になるなど、予算上の問題がついて回るので、場合によっては事業の縮小を図る部分も必要になるかもしれない。</p> <p>・幼児から高齢者までの広い範囲のカバーは大変である。横串をさすような連携が必要と考える。</p>

【参考】基本施策に関連する予算事業の分析・評価(平成27年度事業評価における担当課評価)

関連 施策	事業 コード	事業名	評価	事業費決算額(千円)	
			点数	H25年度	H26年度
1-ア	41200	健康づくり推進事業費	80	146	158
1-ア	41203	健康まつり開催事業費	80	508	420
1-ア・エ・オ 2-ア	41209	健康支援事業費	90	2,016	1,884
1-ア	41212	健康相談指導事業費	90	1,137	907
1-ア	41242	訪問指導事業費	90	1,639	1,755
1-イ	31339	温泉保養施設等利用費補助金	70	20,026	20,653
1-イ	31367	高齢者健康づくり器具設置補助金	60	3,410	3,322
2-ア	51040(11)	生活管理指導短期宿泊事業	80	69	130
2-イ	41218	健康診査事業費(一般会計)	90	107,300	106,648
2-イ	14100 14115	保健事業費、特定健康診査・保健指導事業費(国民健康保険)	60	107,092	108,133
2-イ	31010	健康診査事業費(後期高齢者医療制度)	75	26,195	28,574
2-ウ	51020(11)	通所型介護予防事業	90	34,000	34,000
2-ウ	51060(11)	高齢者健康教室事業	90	37,260	37,350
2-ウ	51070(11)	二次予防事業対象者把握事業	60	1,994	2,250
2-エ	41251	感染症対策事業費	100	214,387	227,591

平均点	H25年度	H26年度
80.33	557,179	573,775